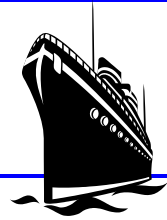


## MSI Marine News

トピックス



●海上保険の総合情報サイト **MARINEN@vi** もぜひ、ご覧ください。(http://www.ms-ins.com/marine\_navi/)

## 国内における気象情報活用の今

情報技術の進歩により、気象情報の収集や分析のための環境が官民を問わず急速に整備されています。産業界においては、自然災害による事業リスクに備えるための利用にとどまらず、気象情報をビジネスに有効活用するための取組が進められています。本稿ではビジネスにおける気象情報活用の動向や弊社の新サービス「気象情報アラートサービス」についてご紹介します。

## 1. ビジネスにおける気象情報の活用

## (1) 日本気象協会「需要予測の精度向上・共有化による省エネ物流プロジェクト」

気象データと売上データを分析してより精度の高いビジネス行動に結び付けようとする取組で、気象情報を経済に生かしたり、サプライチェーンの効率化を目的に設立されました。メーカーにおける生産量調整のための予測誤差を小さくすることで食品ロスや過剰な出荷を減らせた、高精度な予測にもとづく最適な輸送手段・航路の選択によってCO2排出量が削減できたなどの成果が報告されています。



(出典：日本気象協会 HP)

今後はこれまで以上に人工知能(AI)を活用し、店舗の立地による気象条件の違いや、季節商品の特性に応じてより精度の高い予測が行えるようにするなど、更なる経済効率化の枠組みの構築が予定されています。

## (2) 気象庁「気象ビジネス推進コンソーシアム」

ビジネスに大きな影響を与える気象データの活用と情報技術を駆使することによって、産業活動を創出・活性化することを目的に2017年3月7日、国土交通省「生産性革命プロジェクト」の一環として設立されました。本コンソーシアムでは、先進的気象ビジネスモデルの創出や、気象ビジネス推進を支える人材の育成が行われています。また同プロジェクトのワーキンググループでは「気象データを収益増の観点で考えると新しいアイデアが生まれるのでは」との意見が出されています。



(出典：気象庁 HP)

## 2. 新サービス「気象情報アラートサービス」のご紹介

## (1) 気象情報アラートサービスとは？

株式会社ウェザーニューズ社と提携し2017年4月より開始したサービスですが、任意に設定した観測地点(最大5地点)における「降水量」「風速」「降雪量」の予報が基準値を超える場合や、観測地点から基準値以内の地点で「落雷」を観測した場合、お客さま指定のアドレスにアラートメールを配信するサービスです。

なお、提供する予報は観測地点の最寄り都市の予報ではなく、ピンポイントで登録した地点における予報です。また、基準値は登録された地点の地理的条件や商品の特性に合わせてお客さまご自身で設定いただけます。さらには、アラートメール受信のみならず、設定した地点の気象予報もご覧いただくことが可能です。

(2) 気象情報アラートサービスの活用方法

天候が急変する前に、設備点検や商品移動のような直前対策を講じることで損害を防止・軽減することが可能となります。

(3) 気象情報アラートサービスの利用申込方法は？

国内貨物総合保険（フルライン）、新・物流包括保険（サポートワン）に付帯されているサービスです。同保険に加入いただいているお客さまは無料でご利用が可能です。保険証券にご案内を同封しておりますが、詳細は弊社営業担当までお問い合わせください。また、弊社では集中豪雨・台風関連の情報、損害防止・軽減のための点検ポイントをまとめた資料「集中豪雨や台風に備えて—輸送・保管貨物の防災対策—」もございます。ご希望のお客さまは、弊社営業担当までお問い合わせください。

三井住友海上の  
気象情報アラートサービス  
のご案内

【サービスの対象となるお客さま】  
次のいずれかの任意の任意保険をご契約のお客さまが対象です。  
●フルライン（国内貨物総合保険）  
●サポートワン（新・物流包括保険）

短時間強雨の発生回数は増加傾向にあり、突然発生する局地的な豪雨（いわゆるゲリラ豪雨）による浸水被害や、突風による被害が頻多く発生しています。自然災害は企業経営に大きな影響を与えるリスクとなっています。

気象情報を有効活用できていますか？

“気象情報アラートサービス”がお役に立ちます!!

気象情報アラートサービスとは

◆任意に設定した地点において、降水量・風速・降雪量の予報が基準値を超える場合や、観測地点から基準値以内の地点で災害が発生した場合にメールでお知らせします。  
◆地点は最大5地点まで、ピンポイントで設定可能です。 ◆基準値は、お客さまの業務に依り任意に設定が可能です。

トップ画面

任意に設定した地点の気象予報とそのレベル（平常、注意、警報）がひと目でわかります。表示は、12時間先、2日先、10日先までの8タイプから選択できます。また、雨量レーダーで雨量の様子をチェックすることも可能です。

ピンポイントの地点設定

独自の観測地の大都市ではなく、設定したい地点の住所をピンポイントで設定可能です。設定した地点とピンポイントの予報をご提供します。

メール配信

干ばつ降水量、干ばつ風速、干ばつ降雪量のレベルが上がった時（平常→注意または注意→警報）や観測地点から基準値以内の地点で災害が発生した場合に、登録いただいたアドレスにメールが配信されます。メールを受信したい日時、時間帯を設定することで、情報が欲しい時にのみメールを受け取ることができます。これにより、降水量や風速のレベルに依り対応の防災対策の検討が可能となります。

基準値の設定

降水量・風速それぞれについて「注意」レベルと「警報」レベルの2段階をそれぞれに設定することができます。基準値は、お客さまの業務に合わせて、任意に設定が可能です。

気象情報アラートサービスの活用例（※掲載は例（任意）です）

例1 工場・倉庫における防災策

レベル	設定	お客さまの対応
注意/注意	10mm/h以上の雨	浸水害の点検
注意/警報	50mm/h以上の雨	土のうの設置、倉庫へ移品を移動

雨が降る前に浸水害の点検実施

例2 南東地区における防災策

レベル	設定	お客さまの対応
注意/警報	10m/s以上の風	窓・シャッターの閉止確認

雨が降る前の時点で土のうの準備を実施

三井住友海上火災保険株式会社  
Mitsui Bussan Kaisha Insurance Group  
所在地：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
電話：03-5561-1111

<参考文献一覧>

- ・ 日本気象協会HP：  
<https://www.jwa.or.jp/project/project463/>
- ・ 気象庁HP：  
<http://www.data.jma.go.jp/developer/consortium/>

以上